

ふびす

CHIKUZEN
GIKAI DAYORI
年4回発行
5月・8月・11月・2月

●編集発行

筑前町議会広報特別委員会
電話 0946-42-6622

バックナンバー
はこちらから



▶ 6月定例会 P2
▶ 委員会活動 P5～

▶ まちかどトピック P7
▶ 町政を問う 一般質問 P8～

第81号

2026.8

6月定例会

6月5日から12日の8日間の日程で開催。報告2件、承認4件、議案16件、発議2件が提案され、審議の結果、原案のとおり可決した。



石丸 時次郎 議長

令和8年度 一般会計予算(第1号)

1億5217万円を増額

補正後の予算総額：**170億9029万円**

予算増の主なもの

学校給食費支援事業

230万円

県産ブランド品「博多和牛」「福岡有明のり」を活用した給食材料費の増額

小学校施設整備事業

7660万円

資機材費等の高騰、工事内容の変更に伴う、東小田小・中牟田小・三並小の校舎・体育館トイレ洋式化工事の増額

中学校施設整備事業

495万円

夜須中の学級数の増に伴う教員数増加に対応するため職員室の拡張工事の設計委託を行うもの

町議会議員一般選挙執行事務

1355万円

令和9年1月24日に執行予定の町議会議員選挙から電子投票を実施するためのシステム導入委託料

ファーマーズマーケット施設管理事業

1650万円

みなみの里の照明器具をLED灯対応の器具に交換する工事を行うもの

農村環境整備事業

1153万円

藤ノ木下池(久光)改修工事に伴い排水量が増えるため下流排水路改修工事の設計を行なうもの

町指定文化財管理業務

300万円

町指定の文化財「大己貴神社」を保護するため緊急自動車及安全に進入できる私道整備に補助金を交付するもの



大己貴神社(左側が整備予定の私道)

請願審査

2027年度政府予算、地方財政の検討にあたり、「地方財政の充実・強化を求める意見書」の提出を求める。(自治労筑前町職員労働組合)

総務建設常任委員会に審査を付託



意見書採択(全会一致)

国の関係機関へ意見書を提出



可決された主な議案など

工事請負契約の締結

三輪小学校体育館断熱改修・空調設備設置工事

1億4060万円

三並小学校体育館断熱改修・空調設備設置工事

1億499万円

夜須中学校体育館断熱改修・空調設備設置工事

1億9714万円

後田1号線道路改良工事(筑前町朝日地内)

1億4300万円



三輪小学校体育館



町道後田1号線

専決処分の承認

学習用タブレット端末機の購入

1億6800万円

四三嶋工業団地発生土処分工事変更契約

変更後8180万円(700万円増)

国民健康保険税条例の一部改正

- 賦課限度額の基礎賦課分の改正
66万円⇒67万円(1万円増)
- 軽減判定所得基準の改正(5割・2割軽減)

工業用地特別会計補正予算(第1号)

1億7179万円を増額

補正後の予算総額 **9億6805万円**

造成地の売却予定に伴うもの

財産の取得

消防団第1分団消防ポンプ自動車

2976万円

給食厨房機器

1325万円

小中学校給食調理用、ガス回転窯1台・真空冷却器2台

財産の処分

四三嶋工業団地造成地

処分面積 16,819㎡

処分価格 **4億3258万円**

契約の相手方

(株)マキシス工業

町の議員及び長の選挙における電磁的記録式投票機を用いて行う投票に関する条例を制定

選挙人の利便性の向上、正確な投票、選挙事務の効率化を図るため電子投票を行う条例を制定(公布の日から施行し、施行の日以後に行われる町の議員及び長の選挙から適用)

家庭的保育事業等の設備運営に関する基準条例の一部を改正

国の法律の施行に伴いた家庭的保育事業者に、こどもへの性暴力防止のため、従事者に犯罪事実確認・安全確保措置等を義務づける規定を追加(性暴力防止のため措置の義務化は令和8年12月25日から施行)



議決結果

令和8年 第2回定例会

区分	審議結果	議員名 議案名	平田	原田	池松	原口	原田	木村	石橋	柳	山本	奥村	山本	河内	寺原
			英司	邦男	和彦	博文	宏	和彦	里美	雅明	一洋	忠義	久矢	直子	裕明
報告		令和7年度筑前町一般会計予算の繰越明許費の繰越	報告のみ												
		令和7年度筑前町下水道事業会計予算の繰越	報告のみ												
専決承認		四三嶋工業団地残土処分工事請負変更契約の締結	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		筑前町税条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		筑前町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
		学習用タブレット端末等の購入	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
条例可決		筑前町書面揭示規制の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		筑前町の議会の議員及び長の選挙における電磁的記録式投票機を用いて行う投票に関する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		筑前町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		筑前町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		筑前町火入れに関する条例の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		筑前町立大刀洗平和記念館条例の一部を改正する条例の制定についての撤回	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
		筑前町議会委員会条例の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
補正予算可決		令和8年度筑前町一般会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		令和8年度下水道事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		令和8年度筑前町工業用地造成事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
その他可決		財産の取得(筑前町消防団第1分団消防ポンプ自動車(CD-I型)購入)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		工事請負契約の締結(三輪小学校体育館断熱改修・空調設備設置工事)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		工事請負契約の締結(三並小学校体育館断熱改修・空調設備設置工事)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		工事請負契約の締結(夜須中学校体育館断熱改修・空調設備設置工事)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		工事請負契約の締結(後田1号線道路改良工事)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		財産の取得(給食厨房機器)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		財産の処分(四三嶋工業団地造成地)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議長 石丸時次郎は、賛否同数以外採決に加わらない。○は賛成、●は反対、欠は欠席、退は退席。

委員会活動

令和8年6月定例会時に、議場において各委員会の委員長が報告をしました。

総務建設常任委員会



総務建設常任委員会
委員長 柳雅明

近年、日本中で地震が頻発しています。東日本大震災・熊本地震・能登半島地震、そして各地で起こっている震度3～6の地震等、私たちの生活を脅かしています。

そこで、本町が管理している町営住宅の中に耐用年数を経過して老朽化しているものがあります。町は管理している以上、入居者の生命・財産に対して責任を持つ必要があり、この命題を本年度の主要課題として、さらに町有地の調査や昨年度県に多面的機能に関する長寿命化の見直しの要望を再度実施したいと考えています。

文教厚生常任委員会



文教厚生常任委員会
委員長 河内直子

4月に委員会を開催し、残り9ヶ月の在任期間の計画を話し合いました。

6月24日に三輪中学校、7月2日に夜須中学校の学校訪問を行います。今回は授業参観後、文教厚生常任委員会と学校側とで意見交換会を行います。

県外研修は、10月22日大分県玖珠町の「玖珠町立学びの多様化学校」を予定しています。学校に通いづらさを感じる児童生徒が安心して通えるための特別な教育課程を設ける公立義務教育学校です。今後の教育行政に活かしていきます。

議会広報特別委員会



議会広報特別委員会
委員長 池松和彦

うぐいす79号では筑前町産の新米と非常用防災リュックの配布に伴い、三輪カントリーでお手伝いをしていただきました「筑前町ボランティア部」の中学生の方4名を表紙とし、新年の挨拶や各常任委員会の視察研修の様子等を掲載しました。

80号では町の認知症カフェの一環として令和3年から活動されている「ぴーすふるカフェ」の皆さんを表紙とし、2月に行われた第11回議会報告会の様子を掲載しました。

今後も地域の出来事や、議会での活動をよりわかりやすく伝え、「手に取って読んでもらえる」広報紙作りに取り組んでいきます。

総務建設常任委員会

7月2日に行政視察を行いました。

荒木浄水場(久留米市)では水道事業に関するビデオ説明・場内見学を行い、大木町では先進地視察として水稻の乾田直播かんでんちよくはの説明や実施状況の確認をしました。



安心な水を安定して供給する(福岡県南広域水道企業団)



水稻の乾田直播の普及(大木町・農事組合法人上八院上)

文教厚生常任委員会

6月24日、7月2日に学校訪問(三輪・夜須中学校)を行いました。

授業の中で生徒たちがタブレット端末を活用している姿を見てまわり、その後、委員会と学校側(校長・教頭)で事前質問に対しての意見交換を行いました。

今後、委員会で総括し、課題や政策に繋げていきます。



令和8年度筑前町消防操法大会

令和8年6月14日(日)三輪小学校グラウンドにおいて、火災の消火活動を想定した基本動作(消火操作)の正確性・迅速性・安全性を競い合う消防操法大会が行われました。

出場は合同出場を含む4チームで、優勝は第4分団でした。

防災の要である団員の皆さんは、社会人として仕事をしながら町の安心安全のために活動されています。大会にむけて約2週間の厳しい操法訓練を経ての出場です。

優勝の第4分団の雄姿



筑前町消防団員の皆様

私たち町民を守って頂き、ありがとうございます

消防団員募集中!



25年ぶりに帰ってきた遺跡

七板遺跡

我が故郷の歴史を研究しましょう!

丹塗土器



東小田の「七板遺跡」より出土した「丹塗土器」(写真)が令和8年5月14日(約25年振り)に東京国立博物館より返還されました。

「丹塗土器」は弥生時代中期から後期初頭の集落及び墳墓(墳丘墓・甕棺墓)で使用された土器です。(昭和57・58年度発掘調査)発掘当初から重要な資料として認識され、東京国立博物館へ貸し出しされた後に、ギリシャへ渡り、町に戻ってきました。その他の資料については、現在九州国立博物館・九州歴史資料館で厳重に保管されています。現在歴史を後世へ残すため報告書作成が行われており、令和12年度に刊行予定です。

産業フェスタ

6月7日(日)緑とスポーツのふれあい広場にて、筑前町の産業の魅力を町民や来場者に発信し、地域経済を活性化させることを目的としたイベントが開催されました。

ショベルカー操縦体験などの職業体験があり、ステージでは和太鼓演奏・ひょっとこ踊り・ダンスなど、そして広場では30店舗をこえるグルメや素敵なお店がたくさん並んで多くの人で賑わいました。



ショベルカー操縦体験



一般質問

町政のここが聞きたい!



6月議会定例会では、7名の議員が一般質問を行い、町政全般の現状や方針について報告・説明を求めました。

※一般質問に関する記事は質問者自身で作成しています。

発言の全内容(録画配信)は下記のQRコードからアクセスできます。

- ◆ 奥村 忠義 議員 …………… P9
 - ・タブレット端末の活用について
 - ・害獣駆除について
 - ・ペットの苦情について
- ◆ 柳 雅明 議員 …………… P10
 - ・筑前町ワンヘルス推進宣言について
- ◆ 石橋 里美 議員 …………… P11
 - ・郷土の歴史を伝える郷土の歴史民話について
 - ・不登校児童生徒への支援について
- ◆ 池松 和彦 議員 …………… P12
 - ・こどもの居場所づくりについて
 - ・キッチンカーについて
- ◆ 寺原 裕明 議員 …………… P13
 - ・学校教育の充実について
 - ・町公共施設の管理について
- ◆ 河内 直子 議員 …………… P14
 - ・学校校舎敷地外での喫煙について
 - ・機構改革について
- ◆ 原田 邦男 議員 …………… P15
 - ・老朽化した町営住宅の今後の方向性について
 - ・農業者支援について



各議員の
全内容は
録画配信で

6月定例会ライブ配信
アクセス数 216件

令和8年9月定例会日程(予定) ※日程は変更になる場合があります

9月7日(月)～9月18日(金)

一般質問通告書は、8月31日以降、ホームページで公開する予定です。支所窓口や議会事務局でも配布しています。

一般質問

9月9日(水)・10日(木)

決算審査
特別委員会

9月14日(月)～16日(水)



ハイブリッド型教育を

奥村 デジタル教育に切り替えて、将来的に不安要素はないのか。

教育課長 紙かデジタルかといった選択ではなく教育の質の向上のため、実態に応じて適切に取り入れていく。

奥村 すべての教科の基
本は国語力と考えるが、
教育委員会の認識は。

奥村 本町独自で行っている、タイピングコンテストの必要性は。

教育課長 情報を吟味する力、クリティカルシンキング「批判的思考」を育むことが求められている。

奥村 小学3年生からの取り組みで情報化社会では、コンピューターの活用は、学習や日常生活の中では欠かせない。

奥村 課題としては健康被害、メタ認知能力の低下、睡眠時間がスクリーン時間置き換わっている等があるが、今後のハイブリッド型教育についての見解は。

教育課長 国語力は言語能力とも言われ、聞く・話す・読む・書くという言語活動を、国語科を要として各教科で充実させている。



タブレット教育

害獣駆除の対策は

奥村 被害に苦慮しているが、対策としては。

農林商工課長 農作物の被害が増加していることは、深刻な問題と受け止めている。鳥獣被害対策実施隊がアライグマを捕獲した場合1頭あたり5千円の報奨金を出している。

奥村 鳥獣被害対策実施隊への依頼と、その費用は。

農林商工課長 相談があれば町の方から依頼する。費用は発生しない。

犬、猫に関する苦情は

奥村 苦情件数とその中身はどういったものか。

環境防災課長 令和7年度の苦情件数は17件。内容は、猫の放し飼い・野良猫の餌やり・犬猫の糞尿被害・敷地内の侵入等である。

奥村 近所迷惑や個人のモラル等について、町で放送原稿を作って区内放送を依頼してはどうか。

環境防災課長 周辺の環境が損なわれていることが確認できた場合には、動物愛護法に基づき50万円以下の罰金となることもある。継続して啓発活動に努める。



おく むら ただ よし
奥村 忠義
議員



GIGAスクール構想とは

デジタル教科書が導入される

やなぎ まさ あき
柳 雅明
議員



推進決定への 第一歩として

「ワンヘルス」の推進と現状

推進に係る取り組みは通常業務の中で

柳 福岡県ワンヘルス推進基本条例理念として、今、世界で人獣共通感染症が多発し、人と動物の健康が脅かされ、生態系の劣化が進む中で、ワンヘルスの実践は喫緊の課題となっており、福岡県はアジアワンヘルス福岡宣言2022の地として、先頭に立つてこれを進めることが求められている。

ワンヘルスの実践の仕組みを構築し、県民及び県民が愛する動物の命と健康並びに環境の健全性を一体のものとして守り、

その活動を次世代に継承していくために、県はこの条例を制定しているが、町の取り組みとして「生物等の多様性」を維持する考えは。

農林商工課長

「外来種の野生化」

アライグマの野生化対策は今年度から鳥獣被害対策実施隊による捕獲報奨制度を実施する。

「健全な森づくり」

循環型の持続可能で健全な森林経営を推進していく。

「水路や河川の整備」

適切な維持管理により水質の浄化や水辺の従来生態系を保護し環境の健全化を行う。

「自然体験型の学習」

夜須高原森と暮らしの大学校事業を計画し山間地域での暮らしや林業の経験をしてもらう。

柳 行政の取り組みとしての「地球温暖化対策」は。

財政課長

「EV自動車の導入」

公用車への低燃費低公害車導入へ新規導入更新は可能な限り取り組む。

環境防災課長

「機器の効率化」

LED照明の導入やエネルギー消費効率率の高い空調設備への更新に取り組んでいる。

農林商工課長

「県民の森」

県民の森として夜須高原で自然に関する知識の普及向上をめざす。

「県産材の利用」

地産地消の推進として公共施設の改修等を木質化・木造化の視点で研究していく。

柳 継続して行う「動物との共生社会」は。

環境防災課長

「犬猫の譲渡推進」

登録された2団体が譲渡会を実施している。町内ボランティア団体と連携し野良化の抑制を行っている。

「水生生物や昆虫の保全」

人の健康の保護に関する水の環境基準及び生活環境の検査と、合成洗剤や除草剤の適正使用など水質保全に関する啓発を推進し、水生生物や昆虫の保全に努める。



母犬「もも」

夜須高原青少年自然の家との連携について

石橋 筑前町教育支援センター「彩」はどのような役割を担っているのか。

教育課長

各校の対応が町のコンセプトから離れていかないように、不登校支援に係る方針や目的に沿いながら調整したり、情報共有を行うこと。また「教室に入れない」、「校内支援センターにも行きづらい」といった児童生徒のために、居場所と学力を保障する場となっている。

石橋 不登校の早期発見早期支援は、具体的にどのような取り組みでいくのか。

教育課長

早期発見については、教育委員会が各学校の児童生徒の欠席状況を月ごとに把握し、不登校の可能性を察知している。そのデータを各学校に提供し欠席が継続しないよう、早期対応として、家庭訪問や電話連絡等、誰がどのような対応を行うかを協議し実行して、校内支援センターでの体験入級を勧めたりしている。

石橋 夜須高原青少年自然の家と連携した不登校支援事業とは。

教育課長

学校生活への適応に困難さを抱える児童生徒に対し、自然体験活動を通じた居場所づくりを行う「やすこうげん

チャレンジデイ」を町教育委員会と共催して推進している。

石橋 今後、在宅就労支援事業団とも連携し、引きこもり支援への取り組みも推進するよう要望する。



筑前町の歴史民話について

石橋 筑前町の民話数と紙芝居数は。

生涯学習課長

民話数18、紙芝居数12。

石橋 民話紙芝居作成の目的は。



図書館にある民話に関する資料

石橋 今後どのように民話を伝承していくのか。

教育課長

現在は、町の出前講座等で活用している。今後、現在残っている書籍をデータ化し、ホームページ等への掲載が可能であるか等を検討する。

教育課長

町の合併以前に町内の民話に関する問い合わせが多く、体系的に取りまとめたものがなかったため、民話と伝承を取りまとめる事業を実施し、民話と伝説を題材に、手づくりで4編の紙芝居を作成した。

いし ばし さと み
石橋 里美
議員



不登校児童生徒への支援について

居場所づくりを行う

いけ まつ かず ひこ
池松 和彦
議員



こどもの居場所づくり

池松 こどもの居場所づくり支援事業補助金の交付を受けている団体はいくつあるか。

こども課長 今年度は「ちくぜん子ども食堂ほっぺ」・「だいちの会」・「あるくるか」の3団体に交付している。

池松 補助金を申請しないで活動している団体もあるが。

こども課長 全てを把握していないが寄付金や県の物価高騰対策補助金などを活用していると伺っている。

池松 補助金の交付要綱に納得ができない部分や、申請が煩雑といった意見もあるようだ。

こども課長 補助金は3種類設けており、公金であることから適正な書類提出をお願いしている。書類作成については作成支援も行っており、制度の利用については活動実績を伺いながら今後研究していく。

池松 補助金は参加人数に対してとの事だが、どうなっているか。また今年度の予算額は。

こども課長 現行制度では一定の基準に基づき運用している。今年度の予算額は140万円。

池松 補助金は参加人数に対してとの事だが、どうなっているか。また今年度の予算額は。



池松 場所の確保や資金面で苦慮している団体もあるようだ。

こども課長 認識はしている。活動を継続しやすい環境作りを支援していく事は必要。支援のあり方について検討していく。

キッチンカーについて

池松 2月にあった議会報告会での意見交換でも話題にあったが、みなみの里のキッチンカーはどうなっているか。



町のアピールのために活躍したキッチンカー

池松 残念だがチャレンジした結果だと思う。存続するなら子ども食堂や運動会の昼食などで活躍の場もあったかも知れない。

農林商工課長 キッチンカーは地方創生加速化交付金を活用し平成29年3月に購入した。城山マルシェや被災地支援等で出店していたが、スタッフ不足や経営的負担から先日のみなみの里の総会で廃車が決まったと報告を受けている。

てら はら ひろ あき
寺原 裕明
議員



部活動遠征中のバス事故を受けて、本町の取り組みは

学校と教育委員会が連携して取り組む

部活動における生徒の安全確保の取り組みは

寺原 福島県で部活動の移動中に死傷者が起こるとい痛ましい事故が起きた。本町の安全確保の取り組みは。

教育課長 あらためて町内各学校に児童・生徒の安全確保の徹底を指導している。学校と教育委員会が連携して取り組んでいく。中体連大会のバス代は、町の予算から出しており、今後も続けていきたい。



問われる安全管理、安全運行

寺原 中学校の部活動指導員配置の今後に向けた取り組みは。

教育課長 将来的に休日の部活動を、地域クラブへ移行できるよう検討している。県の補助金が削減傾向であり、受益者負担を含めて経費の確保も考えていく必要がある。

本年度の始業式について、学校及び教育委員会の評価は

寺原 本年度の始業式は4月7日で、例年より遅く行われた。「学年初めの準備期間の確保を」という教職員からの要望を受けて提起していたので、今回の実施を嬉しく思っている。教育委員会はどのように評価されているか。

教育課長 学年初めの準備期間を1日増やした。校長からは、新学年を迎える児童生徒の準備が計画的にできたとの報告があり、教育委員会としても適切な措置であったと考える。

町管理の野球場とパークゴルフ場の整備の状況は

寺原 野球場とパークゴルフ場の草刈りは、町が定期的にしている。しかし、利用者からは、草が伸びていて使いづらいので、整備してもらいたいとの要望が何件も挙がっている。担当課の考えは。

生涯学習課長 利用時期が草刈り直前という場合もあり、整備についてのそれぞれの感じ方やご意見があることは承知している。

寺原 町として、利用者がいつでも使いやすいように整備することは、難しいのではないかと。町が乗用草刈り機を準備してくれら、草刈りは自分たちでやってもよいとの申し出が、利用者から複数あっている。乗用草刈り機を導入してはどうか。

生涯学習課長 安全面等の問題があり、導入は難しい。年間の草刈り回数や委託料等を勘案しながら検討したい。

寺原 草刈りをやってよいという協力者がいるので、前向きに検討していただきたい。

かわち なお こ
河内 直子
議員



近々実行する

役場の機構改革はどこまで進んだのか

早めの機構改革を

河内 機構改革についてはこれまでも取り上げてきたが、社会経済情勢の急激な変化に伴い、住民の行政ニーズは増大・多様化する一方、厳しい行財政状況の中、行政のスリム化・効率化が求められている。現在の組織体制が社会情勢、住民ニーズに即しているとは言い難い状況であることは承知しており、組織全体の組織改革について現在検討を始

めているとのことだったが、現在、改革はどこまで進んだのか。

総務課長 既存の公共施設でのスペースは限られているため、その課題への対応策を検討してきた。執務室確保のため、新たな行政棟の建設や既存施設の改修及び行政棟以外の公共施設の活用など、様々な手法を検討している。今後課題解決に向けた協議や準備をしながら、組織機構改革を進めていきたい。

町長 朝倉市・筑紫野市の両施設等を参考にしながら、住民の方々の意向を尊重しながら、リニューアルの計画をしていきたい。近々実行する。

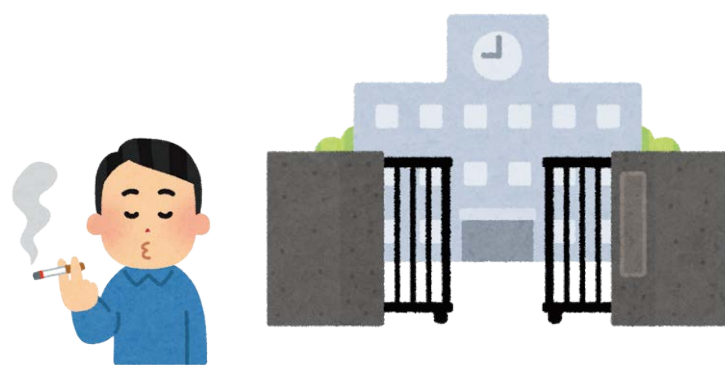
学校敷地外の喫煙について

河内 学校敷地内は禁煙となっているため、多くの愛煙家の方々は、学校を二歩出た所で喫煙をされている。しかし、そこは多くの子ども達の通る所でもある。こども達の通る場所での喫煙は、こども達の健康を守るうえでも、喫煙を他の所でするように相談してもらいたい。



どのように変わるのか楽しみ

教育課長 通用門付近での喫煙は、児童・生徒等の健康に影響を与えるため、喫煙する場合には時間と場所を考慮し、他者に影響を与えることがないように配慮することを啓発したい。



入居者の安全を第一に

原田 本町には耐用年数を超過した町営住宅が存在しているが実態は。

都市計画課長 令和8年3月末現在、町営住宅のうち超過している住宅は10団地76戸、このうち入居中の住宅は10団地39戸となっている。

原田 建設当時、建築基準法の目的を満たしていたが、築50年を迎えようとしている現状をどのように捉え、どのような対策を考えているのか。

都市計画課長 町営住宅には、耐用年数を超過した住宅が存在しており、日常的な点検及び必要な修繕を実施し、安全性及び居住性の確保に努めている。老朽化が進行している住宅については、入居者募集の停止とあわせ、入居者との協議を重ねながら、他の団地への住み替えを進めており、移転が進むなど一定の成果が現れている。

原田 入居者の安全を第一に考えれば建て替えも検討すべきと思っっているが見解は。

都市計画課長 耐用年数を経過した住宅が存在していることから老朽化対策は重要な課題であると認識している。一方で住宅の建て替えには多額の事業費を要することから様々な課題について総合的な検討が必要である。このため、

現時点では具体的な建て替えを決定しているものではないが、今後の町営住宅の在り方について検討を進める。

本町の農業をどうやる

原田 中東情勢の緊迫化などを受け生産資材などの高騰・供給不安が生じているが町独自の一部助成は考えているのか。

農林商工課長 町独自の助成は現時点で実施には至っていない。農家の経営状況を注視し、国や県の支援を含めた対策を検討していく。

原田 小規模農家に対する支援の考えは。

農林商工課長 農業を支える基盤の多くは家族経営のような小規模農家であるが、補助事業に対してのハードルが高く直接的な

支援が少ないのが現状である。農業が続けられるように今後も支援策については近隣の自治体や国・県の動向を注視しながら、町の農業振興に繋がるように取り組んでいく。

原田 農業者減少を防ぐための担い手の確保、高齢化の対策は。

農林商工課長 新規農業者の確保・育成やスマート農業の推進、そして担い手への農地の集積を行っている。

原田 急増する鳥獣被害の対策について。

農林商工課長 今年度から有害鳥獣の捕獲に対し鳥獣被害対策実施隊へ報奨金を支払う制度を実施する。このことがさらなる捕獲体制の強化につながることを期待している。

はら だ くに お
原田 邦男
議員



老朽化した町営住宅どうする

老朽化対策は重要な課題



写真
左から

ゆくたけのぶひろ 行武信弘さん (トランペット)
もりべ 森部かをりさん (クラリネット)
もりもとなつみ 森本奈津美さん (テナーサクソ)
いちぎますみ 一木真澄さん (クラリネット)



公式Instagram



今回の表紙は朝倉高校OBOG吹奏楽団の皆さんの練習風景です。

2年前の朝倉高校吹奏楽部結成50周年の際に「現役高校生の定期演奏会で記念演奏をさせてもらおう!」をきっかけにOB・OGが集まりました。毎週末、朝倉市の蜷城コミュニティセンターで練習されています。各イベントでの演奏を行ってききましたが、8月15日(土)にはピーポート甘木において第1回となる楽団結成記念演奏会が行われます。筑前町からは写真の4名の方と原口真司さん(ユーフォニアム)が参加されています。今回の演奏会に向けて30数年ぶりに楽器を手にした方もいるそうです。限られた練習時間の中で代表の一木さんは「一回一回の全体練習がとても大事になってきます」と話されていました。皆さん真剣な中にも楽しんでいる雰囲気があり、音楽の素晴らしさや、部活動での世代を越えた連帯感を感じました。

東小田小学校2年生のみなさん 議場へようこそ

令和8年6月16日(火)に東小田小学校の2年1組～3組の児童の皆さんが生活科の「町たんけん」の一環として「筑前町議会議場」の見学に来ました。

議長役を児童が行い、たくさんの質問・要望が出ました。町の未来を考えている児童の皆さんの成長が楽しみです。

～ 質問の一部抜粋 ～

- 公園がもっとあるといい
- 公園の遊具を増やしてほしい
- 水族館や動物園があるといい
- バッティングセンターがあるといい



編集後記



令和8年早くも半年が過ぎ、農村風景は麦畑の黄金色から稲・大豆畑の緑一色に変化しました。農家にとって、年の中で一番忙しいシーズンを終えて、管理作業へ移っていきます。

しかしながら、世界では戦争が収束を迎える気配がなく、物価高騰・資材不足の中今後の農作業を継続できるのか心配している。早く、平和な世界になるよう祈るしかないのか。

(平田 英司)



発行責任者

議長 石丸時次郎

議会広報特別委員会

委員長 池松和彦
副委員長 原田邦男
委員 平田英司
委員 原田博文
委員 石橋里美